

華東師範大学 2月報告書

デザイン3年 杉山歩乃佳

1月31日にアメリカから帰国し、いろいろ準備していたらあっという間に上海の留学がスタートした。華東師範大学の報告書もイラレで作成したかったのだが、パソコンが絶望的に不調だったため、ワードで作成している。授業はまだ始まっていないため、今月は留学準備のことについて記載する。

12月までビザ再開の目処が立たず、今季での留学を諦めていた。最後にもう一度華東師範大学に「短期留学が可能か不可能か」自分で問い合わせてみたが、先生によって回答が違った。自分でなんとかしようとするには限界を感じたので、文芸大に助けを求めた。



入学手続き

そしてある日、教務学生室から留学手続きを特別に許可してくれたとの連絡がきた。留学条件で想定外だったことが2つある。

・中国語での自己推薦書→留学目的を書くのだが、中国語が全くわからない。文芸大の中国留学生が推薦書の作成を手伝ってくれた。

・HSK5級以上→HSK5級を持っていないのでTOEFLかIELTSの結果を求められたが、こちらも持っていない。英検2級とTOEIC600点以下という留学するには低すぎる結果を提出した。事務局が交渉してくださり、語学条件は受け入れてくれた。おそらく、これは私が最初の交換留学生で、特別に認めてくれたのだろう。次の留学生からはHSK5級が求められると思う。

寮

寮はいくつかあるのに留学生寮2号館しか選択できなかった。部屋を選択する際、ルームメイトの国籍や年齢などの情報を得られる。私は中国語が全くできなかったので、英語が話せそうなロシア人との相部屋を選択した。留学生は韓国人が最も多い。韓国語が話せる人は絶好の機会だが、韓国人は日本人より少し英語力が高い程度だと思う。寮費が一番安い月2万を選択。1階の一人部屋は夏になると虫が入り込んだり、騒音だったりを選択しないほうがいいらしい。トイレは水洗ではない、シャワーは綺麗とは言えない。部屋は綺麗だったが、

当たり外れがあるらしい。留学生寮 1 号館は中国政府の奨学金に受かった留学生が住んでいて、新築でとても快適だそう。この中国政府による奨学金はよくわからないが、受ければ学費や寮費免除など、かなりの額が給付される。協定校による留学は文政の生徒の受け入れ学部がない。自分でこの奨学生に挑戦してみるのもいいと思う。

ビザ

ビザを申し込む日はまだ短期ビザ (X2) の発行が停止していた。学習期間は 180 日未満なので X2 ビザで申し込まなければいけないのだが、一か八かで留学準備期間を含めて 180 日以上という無理のある理由で長期ビザ(X1)を申請してみた。当日、面接予約時間に遅れ、「面接予約時間に遅れる場合は予約を取り直すこと。時間厳守。」とメールに記載されていた。そこで、予約を取り直そうとしたが、再度予約が取れなかった。静岡に何もせず帰るわけにもいかないし、なんやかんや面談してもらえたが、いろいろ不思議だった。まず、ちょっとした遅刻くらいで予約を取り消さなくていいと言われた (笑)。そして、短期ビザが世間はまだ知らない中、再開していた。結局ビザの期間は学習期間に基づくため、その場で X2 申請に切り替えてくれた。さらに、パスポートの返却は郵送で選択していたのに、コロナの影響でまたビザセンターまで取りに行くことになった。(コロナが理由なら郵送してくれれば良いのに…)

航空券

直前の購入だったため、直行便がなく台北経由で上海に行った。総額 6 万円ほどだった。普通の留学計画なら、もう少し安く購入できるだろう。ちなみに、アメリカのサンノゼから羽田行きの航空券を 4 ヶ月前に購入したら 5 万弱であった。早ければ早いほど安い。

SIM と VPN

台湾の空港内の Wi-Fi は問題なく使えたが、浦東空港の Wi-Fi は使い物にならない。事前にプリペイド式の SIM カードを購入していたため、それを利用して空港から大学まで移動した。その後、ルームメイトが SIM の購入に付いて来てくれた。公式のお店がよくわからないが 1 ヶ月 700 円と安く買えた。大学校内にある SIM ショップは高い。そして、たまに通信が途切れる…また、中国の SIM カードを入れた瞬間、日本で設定していた VPN が使えなくなった。在中日本人がおすすめする別の VPN を購入しようとしたが、すでに VPN のサイトがブロックされていた。このことから日本で VPN を設定すべきだが、いざ中国に来たら使えないこともある。30 日間無料など、お試し期間のある VPN がいいと思う。中国人の友人に助けをもらい、格安の VPN を購入したが google で調べても出てこないの、安全かどうかは正直わからない。manaba や outlook は VPN なしでは利用できないので VPN は必須。

銀行

中国の銀行口座とクレジットカード union pay は作るべき。日本でも union pay は作れるが、いくつかのアプリは中国発行の union pay しか使えない。キャンパスペイへのチャージにも union pay がないとできない。

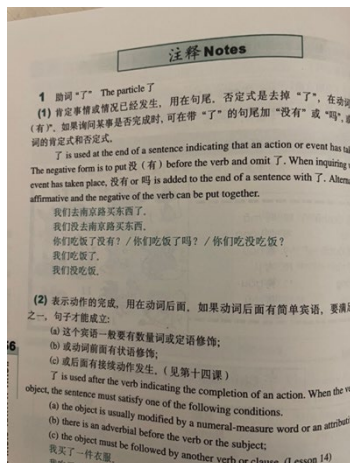
聞いていた話と違う…

私がこの大学に留学したのは、中国語も英語も学べるからである。英語でデザイン学部の授業を受けながら、中国語の語学プログラムも取れると聞いていた。念の為、留学前に華東師範の先生にこのことを問い合わせたところ…

- ・デザイン学部と中国語のプログラムは同時に履修できない
- ・ほとんどの授業は中国語

英語が学べないことは残念だし、中国語はわからないから不安になった。それでも留学はしたかったし、日本人よりは英語を話せるだろうと思っていたのだが、本当に通じない。すごく簡単な英語で話しても、絶対中国語で返ってくる。これから必死に中国語を学ぶしかない。中国語は必須。留学前に知っていたおかげで、覚悟を決めて中国に来られた。もし知らなかったら不満が止まらなかっただろう。思っていた学び方とは違うが今のところワクワクが勝っている。

アメリカで身につけた英語力を失うのが怖いのが、幸いルームメイトのロシア人が元英語教師だった。英語で中国語を学ぶのも面白い、そう思えるのはアメリカ留学していたおかげだ。



←中国語の語学プログラムで使っていた教科書らしい。
これも解説は英語であった。